

令和4年度 事業概要



国土交通省近畿地方整備局
六甲砂防事務所

目 次

I. 事業の概要

- 1. 事業の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2. 事業の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

II. 令和4年度の主な事業内容

- 1. 事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 2. 砂防施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 3. 六甲山系グリーンベルト整備の推進・・・・・・・・・・8
- 4. 地域防災力強化の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 5. 砂防事業の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

III. 事務所の沿革と組織

- 1. 沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 2. 組 織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

I. 事業の概要

1. 事業の目的

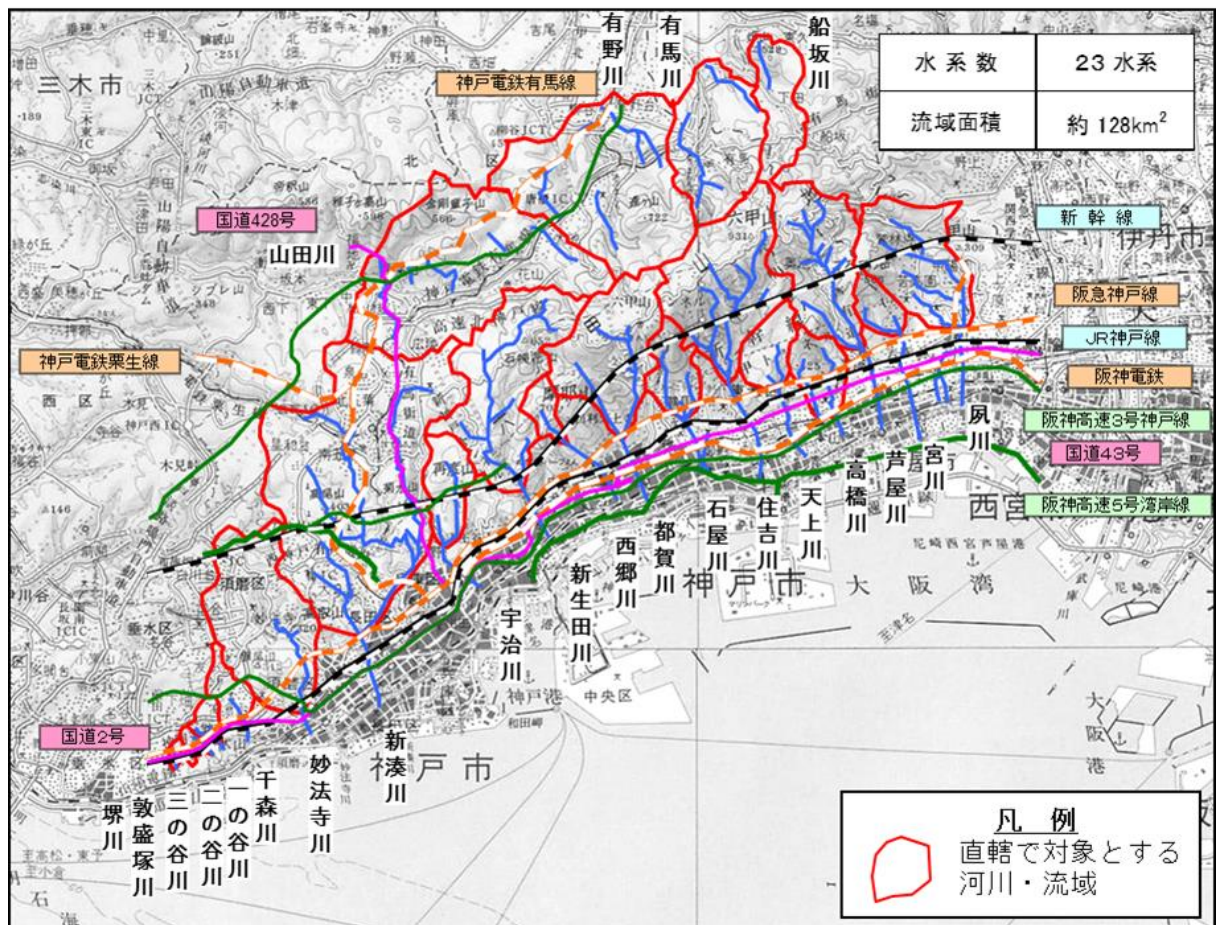
六甲山系は、東は宝塚市、西は神戸市垂水区に至る、東西約30kmに伸びる連山で、海岸線から僅か7km程度で標高931mの六甲山頂に至る程に急峻な地形です。地質的には、風化の進んだ花崗岩が主体を成しており、また、活断層が多数分布している関係から豪雨に対しては非常に脆弱です。

一方で、六甲山系の周辺は、市街化が極めて顕著であり、管内の神戸市、西宮市、芦屋市及び宝塚市には、約230万人の人々が生活しています。土地利用においては、平地部から山地部へと都市化が進行しています。

また、JR等の鉄道、国道2号等の道路、神戸港などの重要交通網が日本の東西経済交流を支えています。このことから土砂災害が発生した場合、甚大な被害が発生する可能性は非常に高いといえます。

六甲山系直轄砂防事業は、六甲山系における土砂災害から国民の生命・財産および重要交通網等の社会経済基盤を保全することを目的としています。

六甲砂防管内図



2. 事業の基本方針

六甲砂防事務所では、事業の目的のため、現在以下の3つの基本方針により事業を実施しています。

(1) 砂防施設整備

土砂災害を引き起こす危険性が高い箇所において砂防施設の整備を引き続き実施します。
また、老朽化した基幹堰堤の補強・機能向上対策も実施します。

砂防施設の整備や堰堤補強に際しては、流木災害の防止対策を同時に実施します。

(2) 六甲山系グリーンベルト整備の推進

六甲山地へ拡大する市街地を土砂災害から守るため、六甲山系グリーンベルト整備事業の推進に取り組みます。市街地に面する斜面の公有地化及び用地取得済み箇所の斜面对策・樹林整備等を実施します。

(3) 地域防災力強化の支援

土砂災害に対する地域防災力向上のため土砂災害関連情報の収集・分析・伝達の研究開発及び施設整備を図り、警戒避難体制の強化に努めていきます。同時に、土砂災害防止に向けた各種普及啓発活動を実施します。

Ⅱ. 令和4年度の主な事業内容

1. 事業費

	合計			合計			比率 (②/①)
	R2 補正	R3 当初	(①)	R3 補正	R4 当初	(②)	
事業費(百万円)	2,000	3,700	5,700	2,346	3,530	5,876	103%

2. 砂防施設の整備

(1) 土石流の危険箇所での対策工事の実施

土石流危険渓流の対策として令和3年度には下表に示す砂防堰堤の新設堰堤が完成しました。

令和3年度に完成した堰堤

位 置	水 系	箇 所 名
神戸市兵庫区	新湊川	鵜越筋堰堤
		菊水山第四堰堤(暫定完成)
神戸市北区	新湊川	水呑第二堰堤
神戸市東灘区	住吉川	紅葉谷第五堰堤

主な令和3年度完成堰堤写真



鵜越筋堰堤



水呑第二堰堤



紅葉谷第五堰堤



菊水山第四堰堤

また、下表に示す新設堰堤及び堰堤改築について、引き続き工事を推進します。

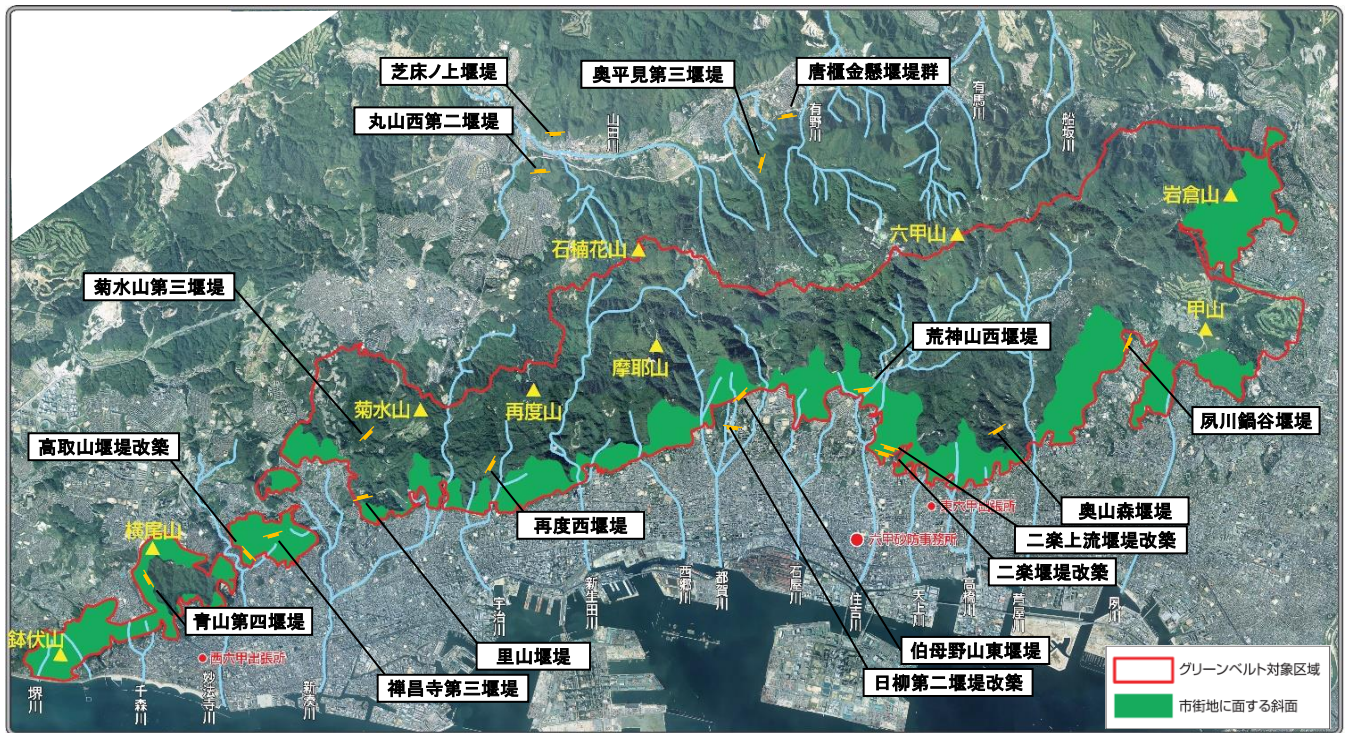
令和4年度の工事実施予定堰堤

位 置		水 系	箇 所 名	備 考
西宮市		夙川	夙川鍋谷堰堤	R4年度完成予定
芦屋市		芦屋川	奥山森堰堤	継続
神戸市	東灘区	天上川	二楽堰堤改築	R4年度完成予定
			二楽上流堰堤改築	R4年度完成予定
		住吉川	荒神山西堰堤	R4年度完成予定
	灘区	都賀川	伯母野山東堰堤	R4年度完成予定
			日柳第二堰堤改築	R4年度完成予定
	中央区	宇治川	再度西堰堤	新規
	兵庫区	新湊川	菊水山第三堰堤	R4年度完成予定
			里山堰堤	新規
	長田区	妙法寺川	禅昌寺第三堰堤	新規
	須磨区		高取山堰堤改築	新規
	須磨区	千森川	青山第四堰堤	R4年度完成予定
	北区	山田川	丸山西第二堰堤	新規
			芝床ノ上堰堤	新規
		有野川	唐櫃金懸堰堤群	R4年度完成予定
			奥平見第三堰堤	継続

新設堰堤…新規着手：5箇所、継続：8箇所（うちR4年度完成予定：6箇所）

堰堤改築…新規着手：1箇所、継続：3箇所（うちR4年度完成予定：3箇所）

新設堰堤・堰堤改築 位置図



○ 主な令和4年度工事箇所

六甲山系 直轄砂防事業 （夙川鍋谷堰堤）

○概 要

当溪流（土石流危険溪流（I-266））は、渓流域内に溪岸侵食および崩壊跡地が確認されるなど土砂災害に対して危険な溪流である。砂防堰堤工事を進捗させ、土砂災害に対する安全度向上を図るとともに保全対象人家 195戸、要配慮者利用施設（西宮デイサービスセンター）、及び避難所（柏堂市民館）を土砂災害から保全する。

兵庫県 西宮市 鷲林寺



凡 例

—— 流域範囲 —— 土砂災害警戒区域 ■ 対象えん堤



夙川鍋谷堰堤

斜め写真



溪流内の状況



夙川鍋谷堰堤

西宮デイサービスセンター

柏堂市民館



保全対象の状況



保全対象の状況
(柏堂市民館)



施工状況（令和4年2月）

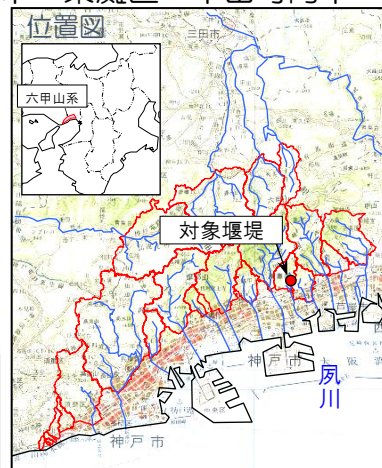


六甲山系 直轄砂防事業 （二楽上流堰堤改築）

兵庫県 神戸市 東灘区 本山町岡本

○概 要

二楽上流砂防堰堤は土石流危険溪流（Ⅰ-228）直下流に位置する堰堤である。この堰堤を部分透過型の堰堤に改築するとともに、現行基準を満足させることにより、流木災害を含む土砂災害に対する安全度向上を図り、人家312戸、要配慮者利用施設（こうべ・武庫之荘鍼灸治療院）、及び避難所（甲南大学）を土砂災害から保全する。



斜め写真



甲南大学



左岸袖嵌入部の状況



保全対象の状況
(甲南大学)



保全対象の状況



既設堰堤の状況

3. 六甲山系グリーンベルト整備の推進

(1) 危険な斜面の対策工事の実施

神戸市の山麓部において、斜面崩壊から住宅地等を保全するための斜面对策工事を実施します。

工事はできる限り既存の樹木を残すことが可能な工法を選択し、健全な樹林帯を保全・育成していきます。

令和4年度斜面对策工実施予定箇所

位 置		水 系	箇 所 名
神 戸 市	東灘区	高橋川GB	本山北地区
		住吉川GB	住吉山手地区
			住吉台地区
			本山町岡本地区
	中央区	新生田川GB	葺合地区
	須磨区	妙法寺川GB	高取山地区
			妙法寺地区
			大手町地区

斜面对策の状況



住吉台地区



保久良地区

斜面对策工実施予定箇所 位置図



(2) 市民と協働による森づくりの推進

六甲山系グリーンベルト整備では、斜面对策等の他に良好な樹林整備を行っています。
また樹林整備の一環として、市民団体 24 団体・企業 22 団体・小学校 4 校等による森づくり活動への支援を実施し、市民と一体となった森づくりに取り組んでいます。

市民団体・企業・小学校等による森づくり活動の様子

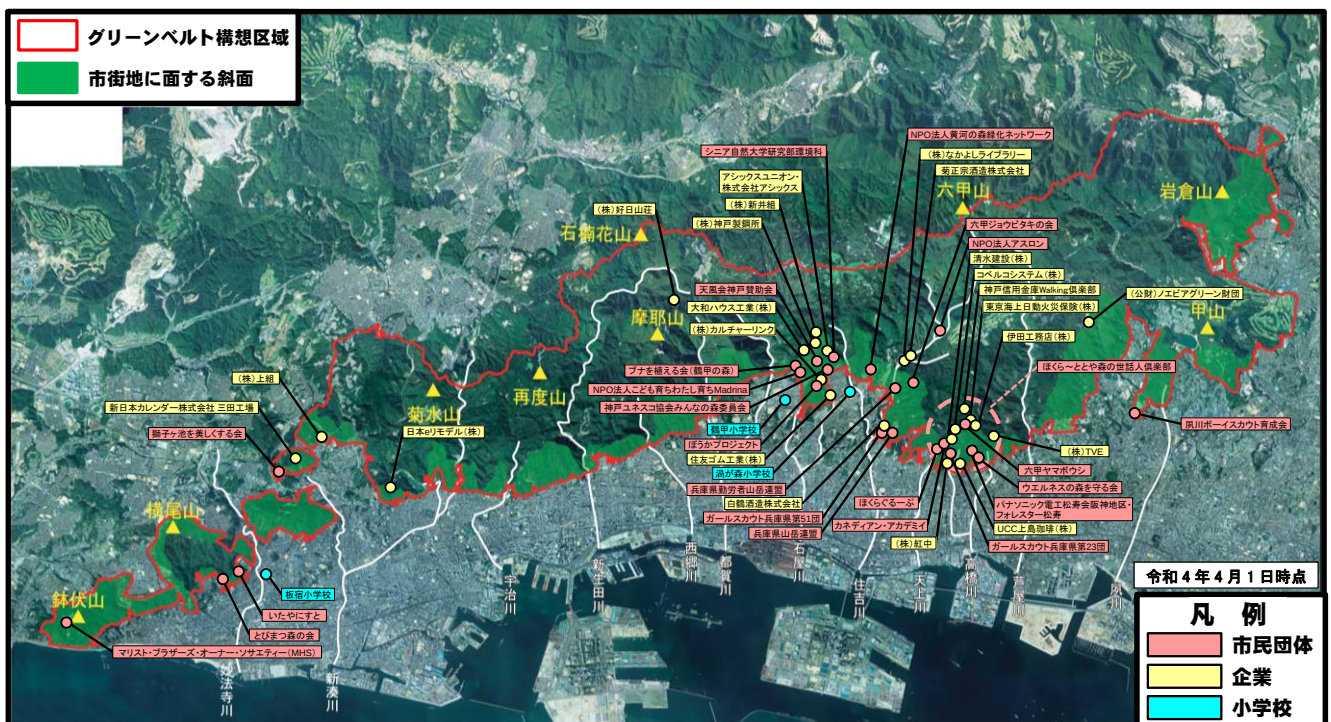


神戸動植物環境専門学校生との森づくり活動



小学生によるどんぐり育成プログラム

森づくり活動団体位置図



4. 地域防災力強化の支援

(1) 防災情報の提供

ホームページやメール通知等により、雨量などの防災情報の提供を引き続き実施します。

(2) 防災情報の共有化

災害時の防災情報の収集や災害活動を迅速に行うため、土石流監視カメラ等の観測情報を光ファイバーネットワークで提供し、関係自治体との情報共有を引き続き実施します。

(3) 地域防災力向上のための取り組み

兵庫県、神戸市等関係自治体との連携強化、災害時に迅速な災害対応を実施するため、同時多発的な土砂災害を想定した県・4市との合同演習を開催します。

(4) 防災意識の普及啓発

1) 出前講座

住民の土砂災害の基礎知識の普及を目的として、土石流の模型実験やパネル・映像などを用いて職員等による出前講座を実施します。

2) 土砂災害防止月間（6月）

土砂災害防止月間（6月）には、土砂災害防止啓発チラシの配布、阪神大水害や阪神淡路大震災の災害写真などを説明したパネルの展示を行い、土砂災害に関わる防災意識の啓発を図ります。

3) 六甲山系「降雨状況通知システム」のスマートフォン版システムの運用

平成26年度より運用を開始している、六甲山系「降雨状況通知システム」について、令和3年度より新たにスマートフォンに対応したシステムの運用を開始しています。



出前講座（堰堤の見学）



出前講座（大型模型実験）



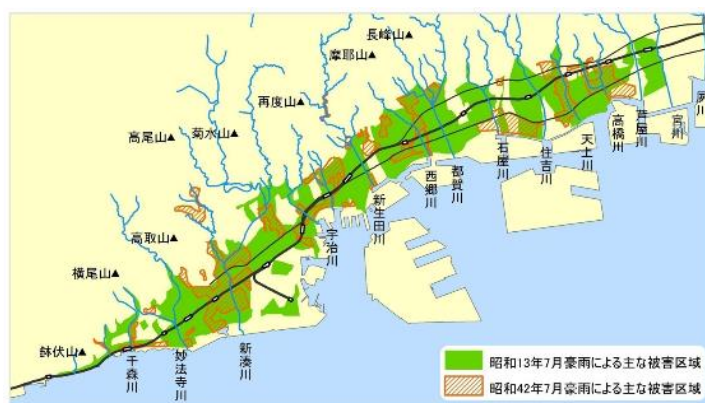
土砂災害防止月間

5. 砂防事業の効果

(1) 昭和13年と昭和42年の水害の比較

六甲山系はこれまでに何度も災害に見舞われ、なかでも昭和13年と昭和42年の災害は特に甚大な被害を及ぼしました。

昭和42年の豪雨は、昭和13年の豪雨にくらべて総雨量はやや下回るものの、最大時間雨量はこれを上回りました。しかも山麓まで住宅化が進む中、人的被害が695名から98名、被害家屋約12万戸から約6万戸にとどまったのは、一夜にして12万立方メートルの土砂を受け止めた、五助砂防堰堤をはじめとする砂防施設が十分に効果を発揮した結果といえます。



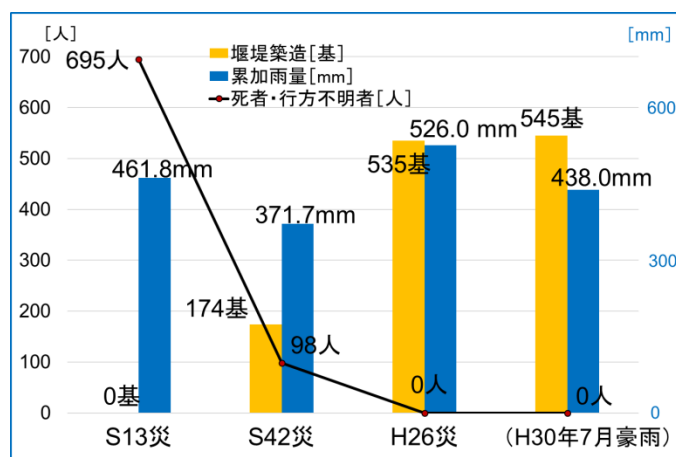
昭和42年災害前後の住吉川五助砂防堰堤

(2) 平成30年7月豪雨による災害で効果を発揮した砂防堰堤

平成30年7月豪雨による累加雨量(438mm)は、六甲山系での既往災害である昭和13年(死者695名)・昭和42年(死者98名)災害に匹敵するものとなりましたが、これまで継続してきた砂防堰堤の整備およびグリーンベルト整備による斜面对策・樹林整備の効果により、人的被害はありませんでした。整備済の水晶谷第四堰堤では、崩壊した約4,600m³の土砂を砂防堰堤により捕捉し、下流への被害を防止しました。



平成30年7月豪雨 土砂補足状況



既往災害時の状況比較グラフ

Ⅲ. 事務所の沿革と組織

1. 事務所の沿革

(1) 沿革

昭和13年7月、阪神地域を襲った豪雨（阪神大水害）は、無数の山崩れ・土石流を発生させ、阪神地方に莫大な被害を与えました。この災害を契機として、昭和13年9月に六甲砂防事務所が発足し、六甲山系において直轄砂防事業を実施しています。

年 月	六甲山系直轄砂防事業と主な災害
昭和13年 7月	阪神大水害、死者・行方不明者695名
9月	内務省六甲砂防事務所設置
昭和14年 4月	直轄砂防事業開始
昭和26年 4月	河川改修事業を県へ移管、引き続き受託で改修工事を実施
昭和36年 6月	梅雨前線豪雨、死者・行方不明者31名
昭和42年 7月	梅雨前線豪雨、死者・行方不明者98名
昭和47年 9月	宇治川調整池工事完成に伴い、県からの受託による改修工事は完了
平成 7年 1月	兵庫県南部地震、土砂災害による死者・行方不明者37名
平成 8年 3月	六甲山系グリーンベルト整備事業に着手

昭和13年7月の阪神大水害



中央区元町6丁目の惨状



JR三宮駅よりそごう附近を望む

昭和42年7月の梅雨前線豪雨災害



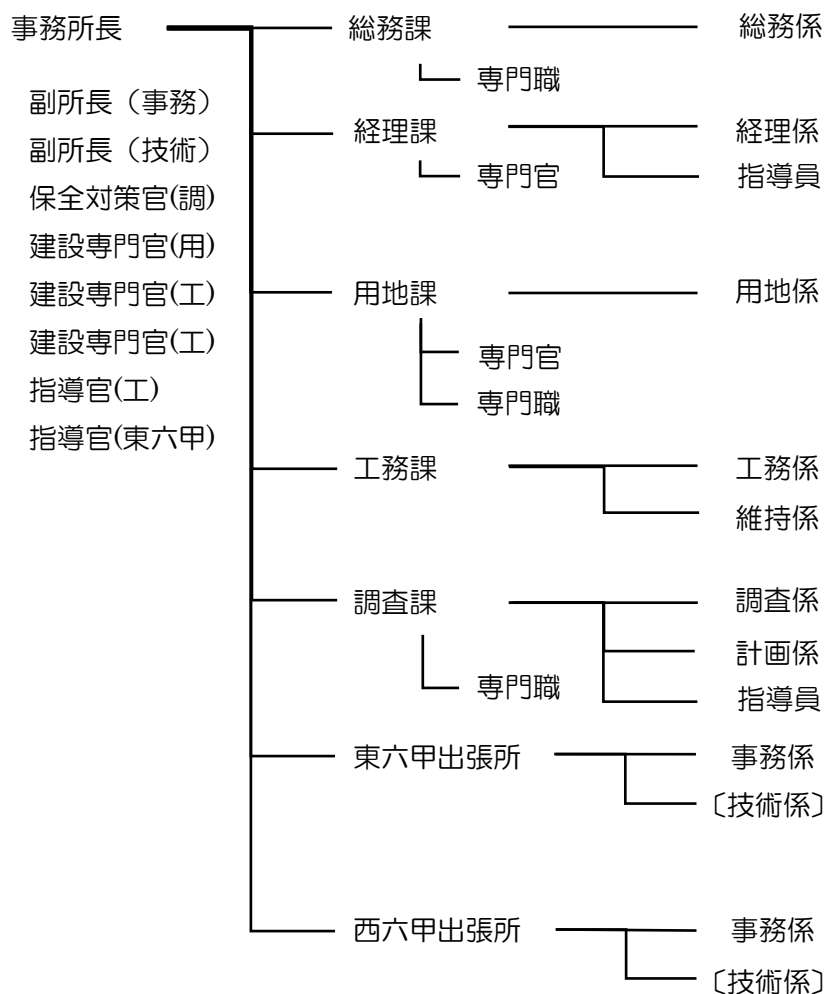
中央区北長狭通8丁目 JR高架下の惨状



六甲ケーブル下駅から流出した土砂

2. 事務所の組織

(1) 組織図



〔 〕は欠員

(令和4年4月1日現在)

(2) 各課の業務内容

総務課・・・・・・受付等所内総務、庁舎管理などに関する業務

経理課・・・・・・工事契約、物品購入に関する業務

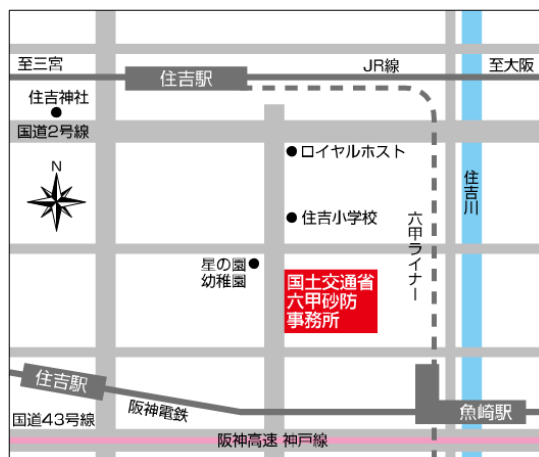
用地課・・・・・・砂防事業に必要な土地の取得に関する業務

工務課・・・・・・砂防工事の設計と実施に関する業務

調査課・・・・・・砂防事業の調査・計画に関する業務

西六甲出張所・・・・砂防工事の監督業務

東六甲出張所・・・・砂防工事の監督業務



国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL: 078-851-0535 (代) FAX: 078-851-0828

E-mail : rokkosabo@lion.ocn.ne.jp

URL : <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>



西六甲出張所

〒654-0063 神戸市須磨区月見山町3-5-23

TEL: 078-731-2400 FAX: 078-732-9565



東六甲出張所

〒658-0072 神戸市東灘区岡本1-7-23

TEL: 078-451-6726 FAX: 078-412-6496



令和4年7月11日一部修正